

2021年11月期
第3四半期
決算補足説明資料

2021.10.15

ティアンドエス株式会社
(東証マザーズ 4055)



T&S
Technology & Service

2021年11月期 第3四半期

ハイライト	p. 3
決算概要	p. 4
営業利益の状況	p. 6
カテゴリー別売上高	p. 7
取引先別売上高	p. 8
四半期別売上高	p. 9
主要取引先動向	p. 10
エンジニアの採用状況	p. 11
損益計算書	p. 12
貸借対照表	p. 13
通期業績予想の修正	p. 14

(今期のテーマ)

証明への第一歩

1 過去最高収益を達成 (過去同四半期比)

売上高	: 19億75百万円	(19.6%増↑、増加額: 3億23百万円)	(前年同四半期比)
営業利益	: 2億78百万円	(28.9%増↑、増加額: 62百万円)	(同)
経常利益	: 2億84百万円	(31.6%増↑、増加額: 68百万円)	(同)
四半期純利益	: 1億99百万円	(34.0%増↑、増加額: 50百万円)	(同)

2 全カテゴリーで大幅伸長。従業員への業績連動賞与を引当計上

先進技術ソリューションカテゴリーで売上高**57.2%増**。
営業利益の一部を従業員に還元。通常賞与の上乗せ分として、**45百万円を引当計上**。
これによる売上原価及び業績連動賞与を吸収し、前年同四半期比62百万円の営業利益増。

3 通期業績見通しを上方修正

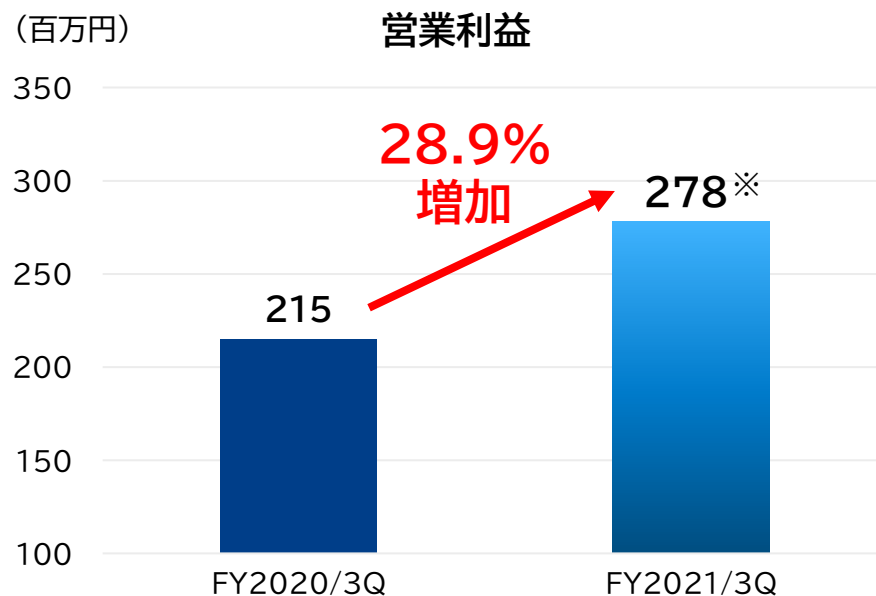
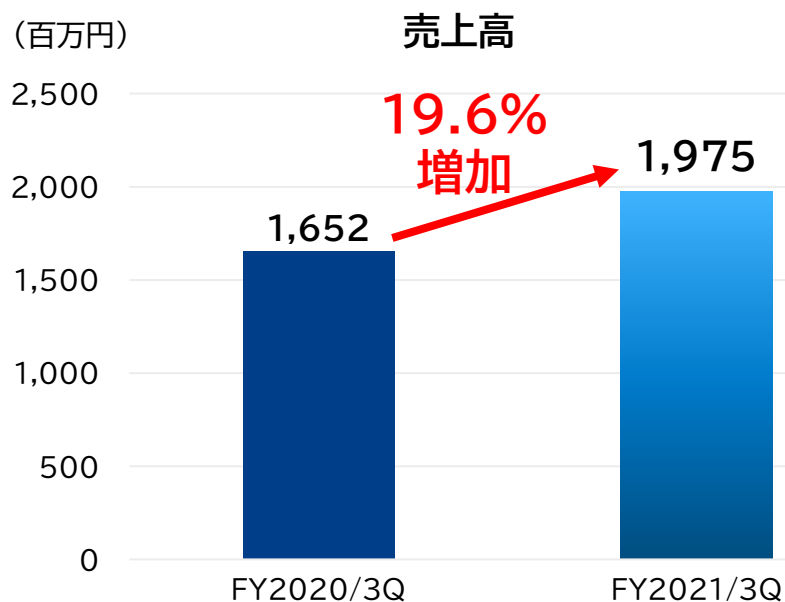
好調な業績推移を勘案し、通期業績予想を**上方修正**。
売上高 : 27億20百万円(前年実績比**20.0%増↑**、増加額: 4億53百万円)
経常利益 : 4億10百万円(前年実績比**34.7%増↑**、増加額: 1億 5百万円)

決算概要

2021年11月期 第3四半期

過去最高収益を達成 (過去同四半期比)

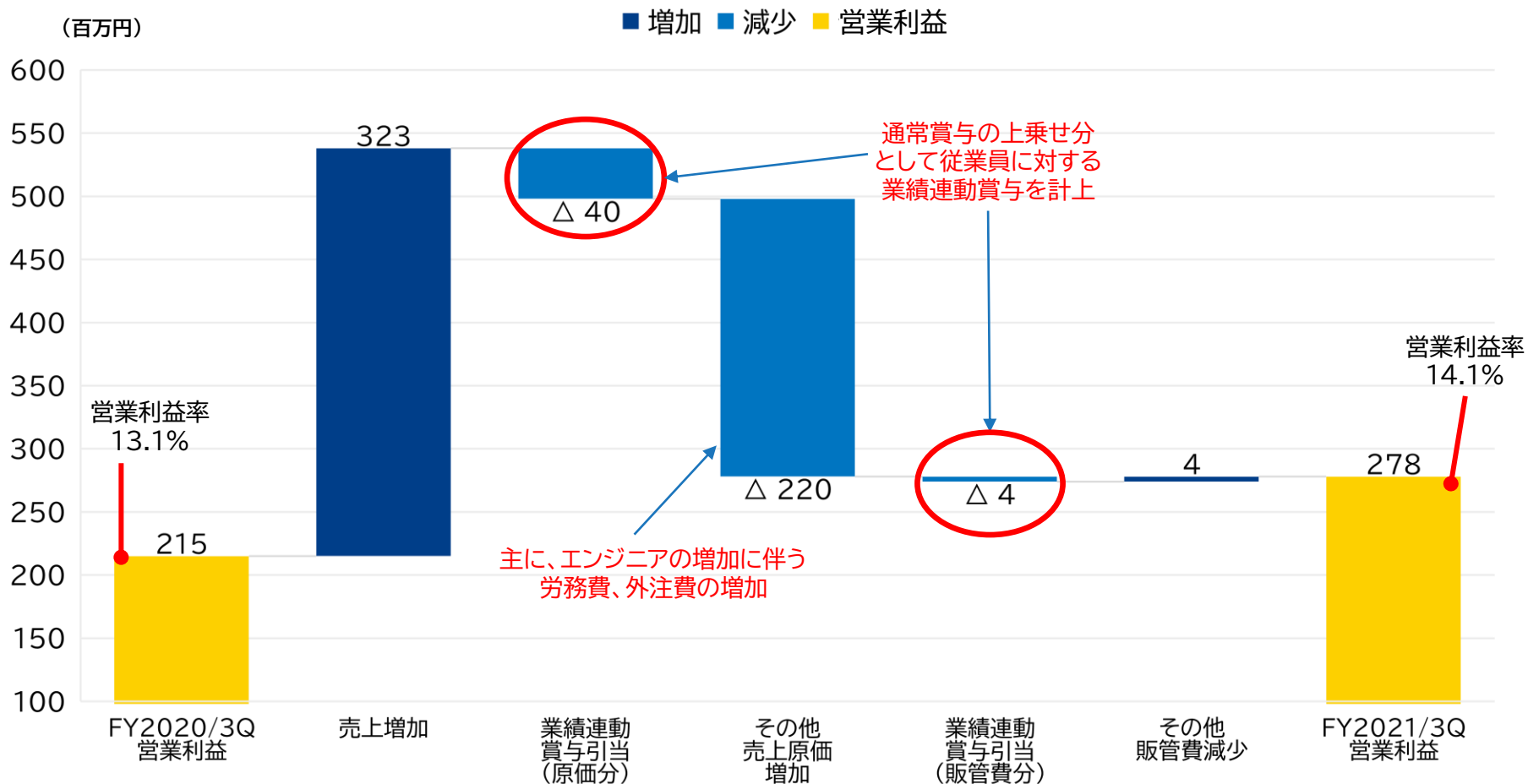
売上高	: 19億75百万円	(19.6%増↑)	増加額: 3億23百万円	(前年同四半期比)
営業利益	: 2億78百万円	(28.9%増↑)	増加額: 62百万円	(同)
経常利益	: 2億84百万円	(31.6%増↑)	増加額: 68百万円	(同)
四半期純利益	: 1億99百万円	(34.0%増↑)	増加額: 50百万円	(同)



※好業績に鑑み、従業員向けの業績連動賞与を45百万円計上しています。

業績連動賞与を吸収し、62百万円の営業利益増

(前年同四半期比)

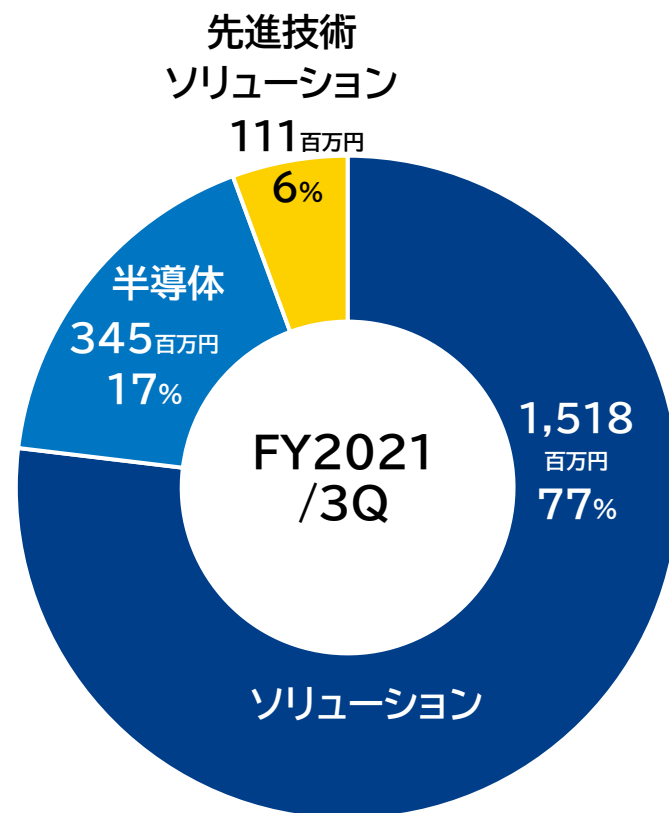
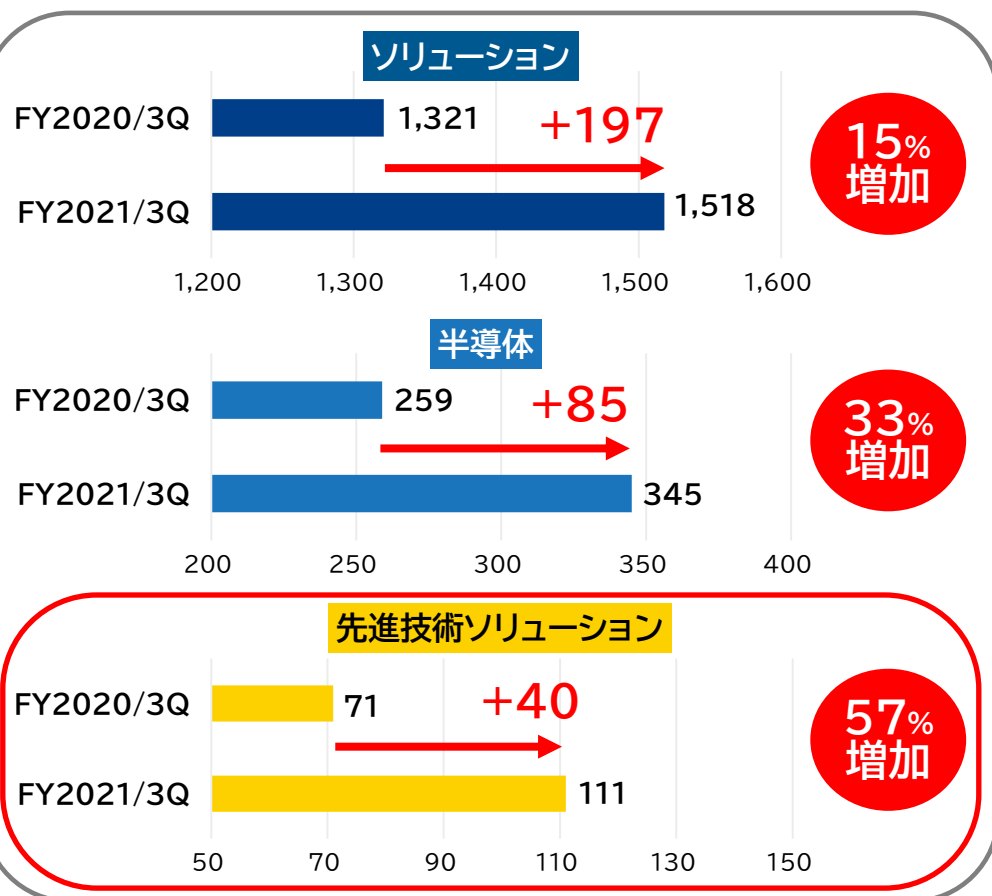


カテゴリー別売上高(FY2021/3Q)

全てのカテゴリーにおいて増収
先進技術ソリューションは**57%増加**
(前年同四半期比)

売上高(カテゴリー別) (単位:百万円)

売上比率(カテゴリー別)



(注) 当社の事業セグメントは単一セグメントです。売上高のみカテゴリー別に集計しております。

取引先別売上高(FY2021/3Q)

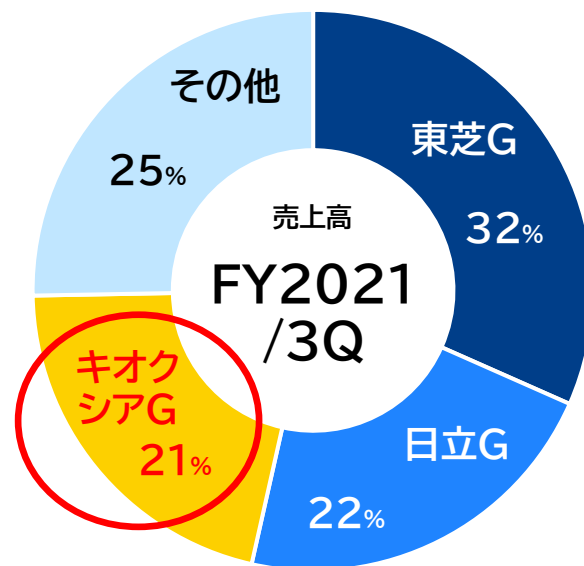
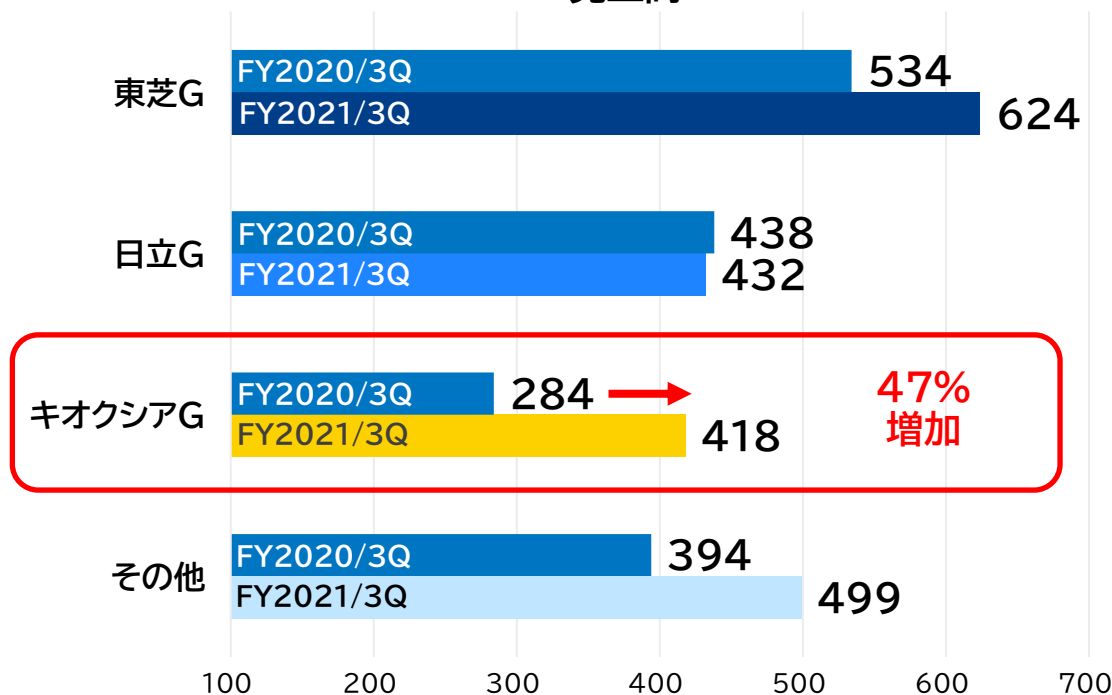
東芝G、日立G、キオクシアG

主要取引先は安定して推移

キオクシアGの増加が著しい

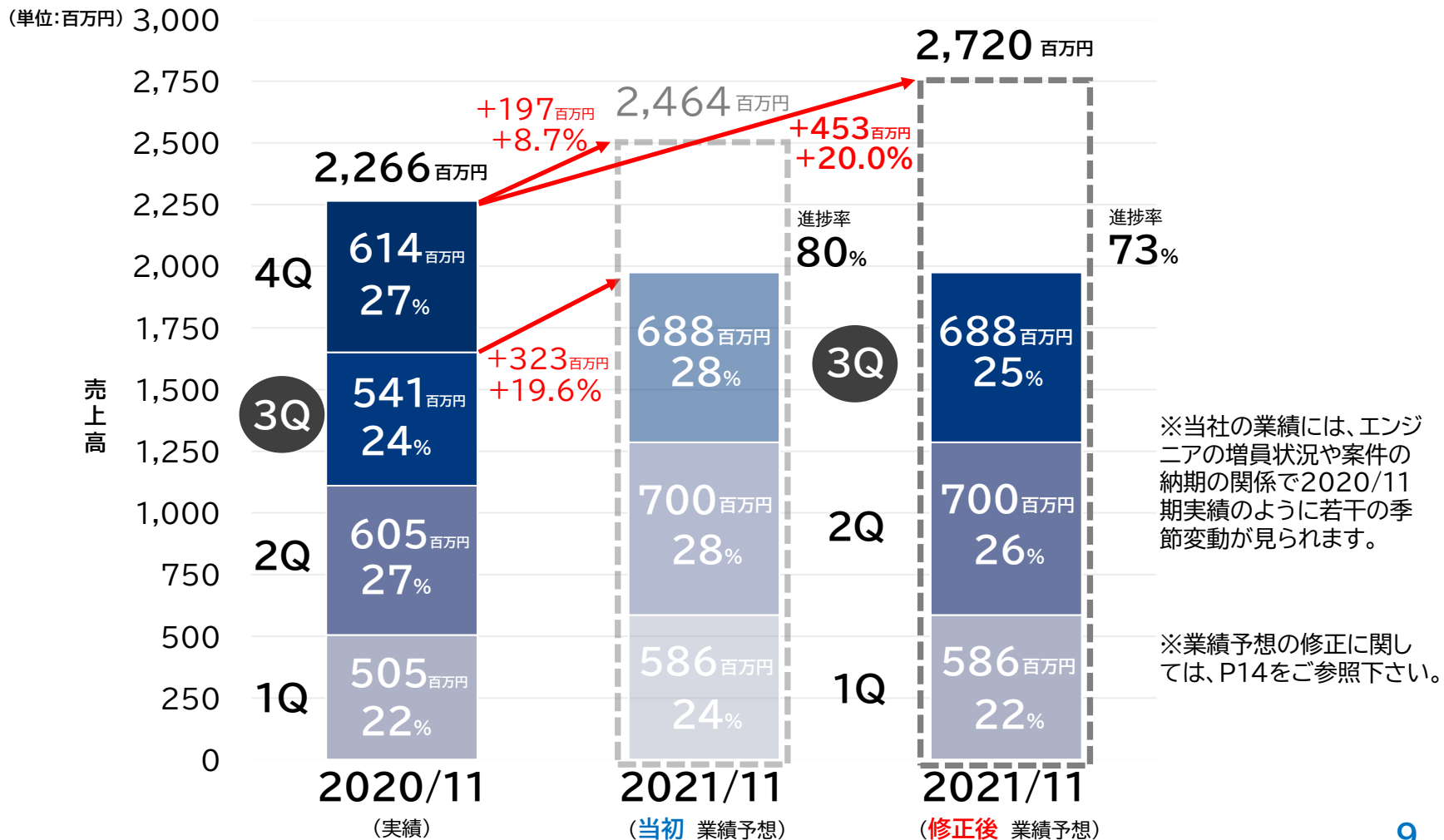
(47%増加(前年同四半期比) 構成比21%)

売上高 (単位:百万円)



3Q累計売上高:19億75百万円

増加額: **+323百万円 19.6%増加** 進捗率: **73%**
(前年同四半期比) (対通期業績予想進捗率)



(全体)主要取引先動向

(2021年10月15日現在)

当社の受注は引き続き好調であり、主要取引先全体としても好調。
各社、新型コロナの影響はあったものの今後は回復し、見通しも明るいものとなっている。

東芝G

車載用の半導体、データセンター向けのHDDを中心に増収増益が続き、受注高も大口案件を主因に前年比大幅増加。当社がシステム開発を手掛ける発電所関連のエネルギーシステムソリューションセグメントも好調。各セグメントとも前年比大幅増の設備投資見通しです。

日立G

市況の回復と、パワーグリッド事業やオートモーティブ関連事業の再編により大幅増収増益。特に、ITとエネルギーセグメントが急拡大しており、当社業務に関連する設備投資もコロナ禍における抑制傾向から一転、増加が期待されます。

キオクシアG

各種SSD向けの出荷量が復調し、NAND型フラッシュメモリ市場の需給バランスの改善を受けて販売単価も上昇。既存工場の増設に加え、横浜テクノロジーキャンパス技術開発新棟と新子安研究拠点の新設を発表。当社への新規システム開発や、保守運用業務の増加が見込まれます。

(各社の公表資料、及び新聞報道より作成)

採用達成率 **157%**

既に今期の採用目標者数を**157%達成** (2021年10月15日現在)

採用方針

全社員数の約10%

(年間採用者数)

全社員数:約300名

採用目標: **30名** (2021年11月期)

採用者数

採用目標 (年間)

30名

実績 (3Q末)

45名

(4Q 現在まで)

2名

合計





(2021年10月15日現在)

47名

※退職者数:18名

損益計算書(FY2021/3Q)

損益計算書(FY2021/3Q)

単位:千円	FY2020/3Q	FY2021/3Q	増減額	増減率
売上高	1,652,086	 1,975,571	323,485	19.6%
売上原価	1,153,694	1,414,880	261,185※	22.6%
売上総利益	498,391	560,691	62,299	12.5%
販売費及び一般管理費	282,568	282,481	△86※	△0.0%
営業利益	215,823	 278,209	62,385	28.9%
(営業利益率)	(13.1%)	(14.1%)		
経常利益	216,061	 284,274	68,212	31.6%
(経常利益率)	(13.1%)	(14.4%)		
四半期純利益	148,905	 199,544	50,638	34.0%
(四半期純利益率)	(9.0%)	(10.1%)		

※好業績による従業員への業績連動賞与45,000千円を含んでおります。

貸借対照表(FY2021/3Q)

単位:千円	2020/11末	FY2021/3Q末	増減
流動資産	1,407,497	1,663,170	255,673
固定資産	95,425	103,204	7,779
資産合計	1,502,923	1,766,375	263,452
流動負債	243,604	316,432	72,828
固定負債	46,966	49,883	2,917
負債合計	290,571	366,316	75,745
株主資本合計	1,212,351	1,400,058	187,707
純資産合計	1,212,351	1,400,058	187,707
負債純資産合計	1,502,923	1,766,375	263,452

通期業績予想の修正

2021年11月期 通期

当初予想に対し、第4四半期の見通しを加味した結果、 通期業績予想を上方修正

単位:百万円	当初予想	今回予想	増減額	増減率
売上高	2,464	2,720	256	+ 10.4%
営業利益 (業績連動賞与計上前 営業利益)	322	405 (465)	83 (143)	+ 25.8% (+ 44.4%)
経常利益	328	410	81	+ 24.8%
当期純利益	229	287	58	+ 25.5%

全社

業績連動賞与計上前の営業利益率17%を確保する見通しが立ったため、増益分の一部を従業員向け追加賞与として計上予定。(業績連動賞与計上後営業利益率14.1%)
その結果、売上高は前年実績比20.0%増、営業利益は同33.0%増(業績連動賞与計上前営業利益は同52.7%増)、経常利益は同34.7%増を予想。

ソリューション

- 主要取引先企業からのシステム受託開発案件の受注が増加。
- 主要取引先であるキオクシア株式会社より、工場内システムに関する大型開発案件を受注。

半導体

- 半導体工場における保守・運用サービスに係る派遣エンジニアの増員が順調に拡大。

先進技術 ソリューション

- AIアルゴリズム研究開発支援サービスや技術論文調査支援などを中心にAI関連の受注が増加。
- 前期より始まった日本電気株式会社との取引が拡大。
- 新規取引先の開拓が進み売上に寄与。

お問い合わせ先

ティアンドエス株式会社

IR企画広報部

Email / pr@tecsvc.co.jp

URL / <https://www.tecsvc.co.jp/>

本資料に掲載されている情報には、将来の見通しに関するものが含まれています。これらの情報については、現時点で当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現や将来の業績を保証するものではありません。経済状況の変化や一般的な業界ならびに顧客ニーズの変化、法規制の変更等、様々な要因によって当該予想と大きく異なる可能性があります。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、当社は、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新又は改訂を行う義務を負うものではありません。